



ヒュミラ®のシリンジが新しくかわります

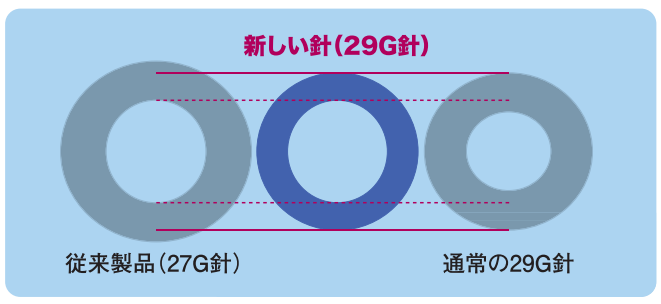
シリンジの写真はヒュミラ®皮下注40mgシリンジ0.8mLです

1 注射針が細く 内径はそのまま同じ機能性を確保します¹⁾。

27G ▶ 29G

注射針の内径はそのままに、外径のみを小さくしたことで、注射針は細くしながらも、従来製品と同じ機能性を確保しました¹⁾。

1) Jaber A et al. BMC Neurol 8:38,2008



2 注射針カバーがラテックスフリーに アレルギー反応のリスクを軽減します。

ラテックス ▶ 熱可塑性エラストマー

患者さまおよび医療従事者の方々のアレルギー反応リスクを軽減すべく、注射針カバーの天然ゴム(ラテックス)使用を中止しました。

シリンジ変更前の従来製品(使用期限が2014年3月以前)には、注射針カバーにラテックスが含有されていますので、ラテックス過敏症の既往歴あるいは可能性のある場合にはご注意ください。



生物由来製品 劇薬 処方せん医薬品[※]
ヒト型抗ヒトTNFαモノクローナル抗体製剤

薬価基準収載

ヒュミラ® 皮下注 20mgシリンジ 0.4mL
皮下注 40mgシリンジ 0.8mL

<皮下注射用アダリムマブ(遺伝子組換え)製剤> HUMIRA®

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

●以下のロット番号以降が新製品です

	ロット番号	使用期限
ヒュミラ40mg	16282LX01	14.04.05
ヒュミラ20mg	16282LX03	14.04.05





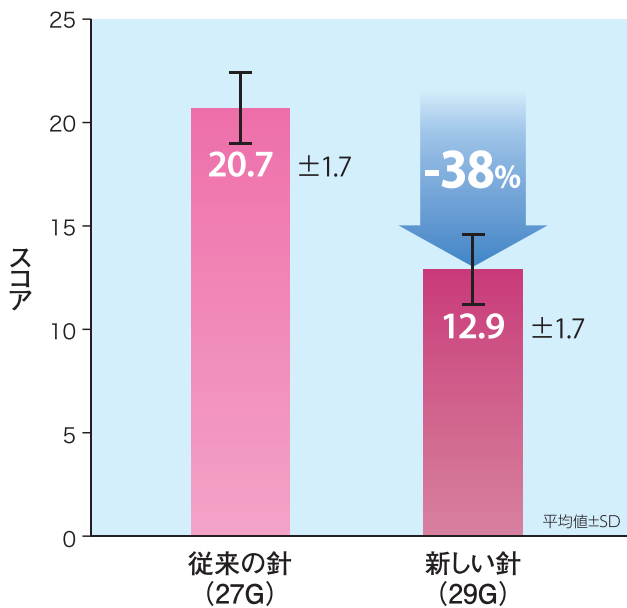
針を新しくしたことによる変化

参考:海外データ

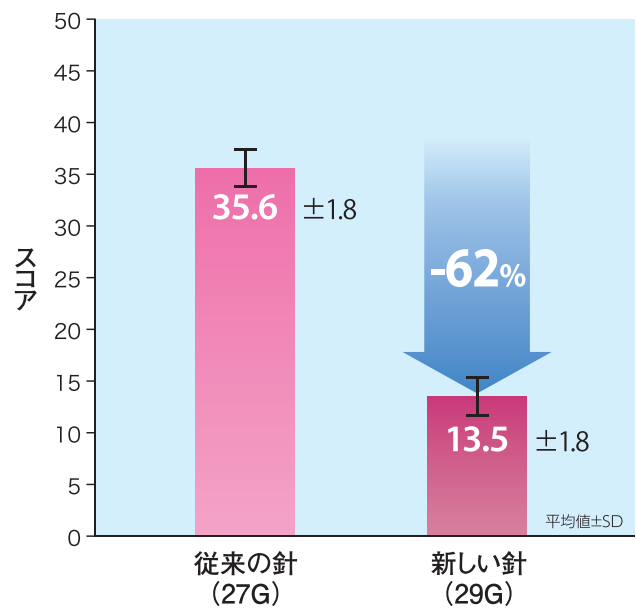
(注射針の比較:Interferon beta-laシリンジを用いたプリックテスト)

より痛みの少ない、
さしやすい針になりました^{1,2)}。

● 痛みのスコア (VAS)²⁾



● 看護師の皮膚穿通度 (針のさしやすさ) のスコア (VAS)²⁾



Single-center French study — 無作為化二重盲検試験 —^{1,2)}

【概要】 Interferon beta-laシリンジを用いて27G/5ベベル針、29G/5ベベル針の特徴の違い (痛み、皮膚穿通度) をプリックテスト (薬液を注入せずに針をさすテスト) により確認した。

【対象と方法】 痛み:

健康成人120名に対して、1日2回40分の間に10分毎に針をさし (3日間、計24回)、毎回その直後に痛みの程度を確認した。

皮膚穿通度 (針のさしやすさ):

看護師12名に皮膚穿通度 (針のさしやすさ) を針をさす毎に確認した。

【評価方法】 Visual Analog Scale (VAS) および Verbal-VAS (VB-VAS)

1) Jaber A et al. BMC Neurol 8:38, 2008

2) Becton, Dickinson and Company 社内資料